



(2011年)

2月 1月

[10-12月](#) [11月](#) [10月](#) [9月](#) [8月](#) [7月](#) [6月](#) [5月](#) [4月](#) [3月](#) [2月](#) [1月](#)
[09-12月](#) [11月](#) [10月](#) [9月](#) [8月](#) [7月](#) [6月](#) [5月](#) [4月](#) [3月](#) [2月](#) [1月](#)


[Home](#)








[Back](#)

2/28 月	<ul style="list-style-type: none"> ●葛城北民主商工会挨拶 売り上げが3分の1に減少したなど業者の皆さんは深刻です。 生活相談 ……生活保護について ●赤旗の集金 ●広陵町訪問 日曜版が2部増えました。 農業の問題では小麦の価格保障が過去3年間をベースにした平均価格との差額保障ですが、3年前はまだ比較的高かったのが、下がったので今年は安いときのものが基準になり、年々下げられていってしまうとの声 TPPになったらもっと大変になるとのことで、関心が高まっています。 靴下では子供に継がせるのが不安。中国も生産する場所がどんどん奥地に言ってしまう。ベトナムやインドなどになっていく。親から受け継いだ頃は作って週に1度メーカーに取ればよかった。今は6時に取りに来る、出てくるのは4時 5時に起きる、納品が8時まで。足りないものは在庫を持たず生産して納品。いつも追い立てられている感じ。 親から子供に継がしたくなるような経済にしなければ日本はどんどん悪くなってしまいますね、と言うと其の通りと赤旗を取っていただくことになりました。 ●北葛城郡選対会議 2月は今日で終わりです。英国王のスピーチがアカデミー賞の4部門の栄冠に輝きました。 	
2/27 日	<ul style="list-style-type: none"> ●広陵町訪問、ご挨拶 ●午後からTPPシンポジウムが奈良100年会館で開かれ司会をさせていただきました 共産党の農林水産局長有坂さん、はTPPの内容やその影響、奈良女子大の中山徹先生は、地元の食材を使った食べ物や地元商店街の活性化など学生と取り組んでいることを紹介して、TPPはこうした努力が地元食材など手に入らなくなってしまう。 流通経路も変わってしまうと。農民連の中垣会長は今でも米がペットボトル1杯70円、農村では跡継ぎがいなくなるが集落を支えるには道や水路の整備など人がいないとできない。工場の機械は365日でも回せるが農機具は365日使われず眠ったまま、日本の農業があってこそ国土が守れる。秋篠茜会の山村さんは、医療や介護などにも大きな影響が出てくること。 福祉がお金で買わなくてはいけない流れが加速する。日本の伝統食を考える会の浅田さんは、食材が手に入らなくなり、安全が保てなくなる。長寿の沖縄で男性の寿命が全国26位になった。 伝統食からアメリカの肉や調理法で肥満が寿命をちじめている、第2の沖縄戦といわれていると警告。JA奈良県、生協連、森林組合、奈良県医師会から連帯のメッセージが寄せられました。 会場からも7名が発言、活発な意見が出されました。 奈良県議会では意見書採択もされていません。また知事は国の農業政策を見て行きたいと傍観者のな状況です。 外国人看護師特区の申請など規制緩和の先取りです。TPPが亡国の政治になることをもっと多くの人に知らせストップさせよう確認しました。 司会としては皆さんの協力で時間通りに進行でき活発な意見も出てやれやれです。 	ページトップへ
2/26 土	<ul style="list-style-type: none"> ●午後からの女性の集いのお誘いで王寺の和らぎ会館周辺を幡野美智子議員と宣伝カーで案内しました。 ●女性の集いは120人が参加していただき元気の出る良い集会になりました。 コーラス。長生き節。生演奏にお歌、みっちゃん和長生き節を踊り隊のパワーあふれる踊りで元気が広がったようです。 後半選の予定候補者の挨拶。それぞれが個性的で思いが伝わります。 各地からのメッセージ。たくさん願いをいっぱい寄せていただきました。 演説では奈良県が変わってきたこと、其の大きな力の中に定数3で共産党議員を送り出していただいている地元の方々の力が大きかったこと。 新たな予算に吉野川の安全対策や院内保育所がつかしましたが、これまで幾度となく励ましてくれてお世話になって方のお孫さんが、吉野川の宮滝のところで友人を助けようとして溺れて亡くなり、その後も犠牲が出て議会でも安全対策を求めています。今年度やっと予算がついたことや周産期センターができて看護士不足で全面稼働がなかなかできず、女性が安心して働けることが奈良県の医療を守る上でも不可欠と、保育所の改善を求めてきたこと。 古くて狭い保育所で子供たちは親の仕事に合わせて朝早く起こされ、病気でも連れてこられて1日過ごす場所として立替を求めていた医大のなかよし保育園の立替予算がつかしました。 また、県立五条三室病院の院内保育所も実現。そこに至った多くの方々の願いがこめられ、それを議会で伝えさせていただいたこと、これからも其の仕事をしていただきたいことを語らせていただきました。 一つ一つの質問が県民の涙や切実な願いが込められていることを話しながら声が詰まってしまって久しぶりに演説会の場で涙が出てきました。 穀田恵治さんが応援に来てくれました。 私が県議会に初当選した1987年は穀田さんも京都市の市会議員に初当選されて、近畿での交渉の場でお会いしていたことがあったそうです、初耳でした。また同和不正を追求してきたことを大変勇気があることと評価してくれました。 北野重一知事予定候補は、県会の1期目に議員団長をしていただいた人です。今井さんは優しい声で初めての県議会のときに不正問題を追究したら自民党の議員からトラックに砂利がどれくらい詰めるか知ってんかと野次を飛ばされながらもがんばって追及していた人との言葉も頂きました。 県政をよく知っていて県民の暮らしをよく知っている北野さんに予算執行権を持つ知事になってほしいと思いました。 花束のプレゼントは散髪してちょっと男前になった春君が長女と一緒にプレゼントとお花をくれました。 今日は33回目の結婚記念日でした。夫とデート。英国王のスピーチの映画を見に行ってきました。アカデミー賞を受賞するかもしれません。実際にあったこととお勧めです。 	
2/25 金	<ul style="list-style-type: none"> ●王寺駅早朝宣伝 ●八尾議員の行きつけのお好み焼き屋さん、ことぶき屋での小集会。14人が集まって満員でした。自分のお金で何か1つ注文することが集会の原則です。 県の報告をしてから色々な意見交換、年金で入れる施設を要望されているんですよ、お金がある人が入れ 	





		<p>るところは次々できてもない人が入れない。お金があってもなくても年は取りますという、姉ちゃんええこと言うわとほめられて、孫がいるからばあちゃんですもん、こんな雰囲気、年金介護水道いろいろ話になりあつという間に時間がたってしまいました。</p>  <p>来てくれた人も喜んでいただきお店も喜んでいただき。こんな集会がまた持てたら良いと思います。</p> <p>●南口議員と河合町訪問、国保の署名のお願い</p>	
2/24	木 曇り	<p>●26日のお誘い ●金田議員宅にて小集会を開きました。17人も来てくださって盛況でした。20億のテレビ番組を流して観てもらいました。県政・町政報告。 参加者からは、三室病院に通うのが王寺駅で南から北に移動するのが大変。改札口のところのイスが1つしかないもって増やしてほしい、バス停の長イスが足りない、畠田駅の屋根を伸ばしてほしい、畠田4丁目交差点の歩道が改善されてよかった、など意見が出されました。 三室病院の通院バスやタクシーなどが新たにできることを報告。椅子については要望していくことを約束しました。 ●金田議員からは王寺町では議員が多すぎるといっている人がいるが、議会の発言が少ない人ほど議員を減らせと言っている。法定定数は人口2万人では26議席まで置くことが可能、議員の仕事は住民の声を議会に届けて実現させること。 無駄をチェックして予算を住民のために使えるようにがんばること、また別の参加者からは、議員の議の字は羊に我と書く。昔中国はトラがたくさんいて羊を食べた。羊は群れになって行動するが、ほかの羊を守るために勇敢な羊が自分を犠牲にしてトラに食べられている間にほかの羊を逃がした。 議員はそこに言葉偏がついており、言論で市民を守ることが仕事と。昔、大阪で共産党の演説会するとき講師が言っていたと紹介してくれました。 議員は黙って座ってはだめ、それは座席、しっかり発言してこそ議員。 関西広域連合についても意見が出て説明。</p> <p>●幡野議員と自治会長さんと王寺町への共産党の予算要望書を届けました。</p>	
2/23	水 晴	<p>●五位堂駅前早朝宣伝 八尾議員と ●議会運営委員会 ●県議会開会</p> <p>●SLを走らせる会 ●中和幹線促進議員連盟 ●県議回会議</p> <p>●県営住宅の空き家に、不用な荷物を運んでいる人がいるとのこと。住宅課に調査と改善を要望。 ●奈良県の紙おむつ助成制度について問い合わせあり、調査。 平成16年 寝たきり老人紙おむつ等支給事業の要件が、寝たきり常時失禁状態、老齢福祉年金需給範囲と狭められました。 平成17年 要介護高齢者紙おむつ等支給事業として要件が要介護3かつ常時失禁 市町村民税非課税とさらに厳しくなりました。 平成18年8月から要介護高齢者紙おむつ支給事業、市町村に移管。 国の地域支援事業交付金事業がスタート、国の交付金を受けて市町村がメニュー事業で実施。 県は19年まで予算化していましたが、20年からは廃止してしまいました。 市町村では1町以外は実施しているそうですが、要件が狭いため限られた所しか実施されていないのではないかと思います。</p> <p>ニュージーランドで地震、日本人の留学生が建物の下敷きになったというニュースが飛び込んできました。知人の娘さんも以前ニュージーランドに語学留学したと聞いていたので多くの留学生が行かれています場所で心配です。無事救出されることを祈るばかりです。</p> <p>長生き節の練習、音楽と踊りと合同練習を行いました。アコーディオン、三味線、横笛、お歌と本格的です。踊り手も揃ってなかなかの出来になりました。 26日の2時から王寺町やすらぎ会館の春を呼ぶ女性の集いでお披露目します、ぜひおいでください。</p>	
2/22	火 晴	<p>●大輪田駅前早朝宣伝、南口議員、支部の皆さんもビラの配布に来てくれました。 犬の散歩の方ががんばってくださいと声をかけてくれました。</p> <p>●各派代表者会議。 ●議会改革推進委員会の報告が行われ、常任委員会が教育くらし委員会となることが報告、特別委員会のあり方、予算決算委員会のあり方については時期の回選後に持ち越すことになりました。 議会運営委員会 質問の順番をくじ引きで決めますが、今期で引退する田中美智子議員が一般質問の1番目。服部恵竜議員が最後の質問ということで合意。 ●補正予算の説明を受けました。</p> <p>生活相談・・・障害年金について ●20億問題について</p> <p>●広陵町沢にて議会報告会。 下水道料金が高い、介護保険など死ぬまで引かれて行くだんだん年金から引かれるのが増えて心細い、水道の問題。地域の居場所作り事業というのが予算化されていることを紹介。昔は公民館ももっと利用があった。など意見が出ていました。 こんな所にお年寄りももっと気軽に集まれたらいいと思います。昔国体のときに公民館で食事を作って提供したことがあり、食器や炊事道具がそろっています。 ゲートボール大会で優勝した写真がありました。半分以上がお亡くなりになっているとのこと。高齢化の進行は南和だけでなく地元でも確実に進行しています。</p> <p>●河合診療所友の会世話人会</p>	
2/21	月 晴	<p>●佐味田駅前早朝宣伝 南口議員 民主党の宣伝は大輪田駅でやっていたので変更しました。北葛城郡も自民党が新人2人推薦で自民2・民主・共産の4人で3議席を争う少数激戦になります。一気に選挙モードに入ってきました。</p> <p>●過疎水資源対策特別委員会 南和医療圏構想で県は県立五条病院、吉野町立病院、大淀町立病院の3病院を1つの拠点病院と2つの後</p>	

		<p>方病院で整備する構想を南和医療協議会で方向を確認しました。 其中で拠点病院の周産期医療については検診が受けられるようにする、出産は医大のバースセンターで行う。将来出産もできるようにするという方針です。 私はお産の会のアンケートを基にして質問。21年度、南和地域で400人の子供が生まれているが、現地で出産できたのは17人だけ。ほとんどよそで生まれている。拠点病院としてこれからの医療の展望を示すには出産できる施設を保障していくことが大事。若者が住めなくなってしまう。と質問。アンケートでは南和の13人のうち9人が出産場所が遠いことをあげていて、12月予定で雪で道が通行止めになったら心配。 主人がいないときはどうやって行けば良いか、自分で運転していくのは不安、などさまざまな困難や心配がいっそうお産を困難にしているのではないかと思います。 県は方針を繰り返すだけでしたが、大きなお金をかけて地域が一体で進める計画にこれは欠かせないないようだと思います。</p> <p>TPPIには過疎をますます推進するもので県は反対すべきと質問。木材の輸入自由化で丸太やチップなど関税がゼロになった。これまで8割が国産材2割が外材だったのが逆転した。 山で生活できなくなり、人口減少深刻な過疎が進んで行った。この上TPPで農業が破壊されたら増々深刻になる。奈良県は南部振興局を設けて南部の振興を図ろうとするならまずTPPIに反対すべきと質問。農林部長は色々検討している問題もあるとつつも反対とははっきり表明しませんでした。</p> <p>吉野上市にかかる近鉄の鉄橋が老朽化しており、乗降客も減少しているため地元では近鉄が六田くらいまでしか来なくなるのではないかと不安が出ていることを紹介して県でどの様に聞いているかと質問。 鉄橋の老朽化は進んでいるものの安全面で問題はなく、世界遺産もあり、近鉄では観光としても力を入れたいと考えていて廃止の話はまったく出ていないと回答しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国保の引き下げ署名 第2次の提出を行いました。 県議団・太田・小林の予定候補、県下の地方議員が参加。どこでも高すぎる保険料については署名に応じてくれる。命を守るセーフティネットになっていない。4367筆、杉田健康福祉部長に提出しました。 ●北葛城郡選対会議
2/20	日 曇り	<ul style="list-style-type: none"> ●過疎水資源対策特別委員会の準備 南和地域のお産ができる施設が設置できるようにがんばります。 ●河合町 会議に参加
ページトップへ		
2/19	土	<ul style="list-style-type: none"> ●河合町訪問 ●女性の集いのお誘い。 ●王寺町吉川議員と宣伝7箇所。美しヶ丘で宣伝させていただきました。窓を開けたり、聞いてくれました。お天気がよくて暖かく宣伝日和。梅が咲き始めています
2/18	金	<p>人間ドッグ 年に1度受けています。食事は3度きっちり取っているので検査の日の朝食抜きはこたえます。其のお昼ご飯がおいしかったこと。胃カメラに大腸検査、軽い麻酔で気持ちよくぐっすり。一晩とまらせてほしい心境でしたが、後に集会が控えていたので帰ってきました。 一緒に検査を受けたのが、黒滝村から来られていました。年末の積雪は50センチもあったそうです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●上牧町新婦人小集会、介護保険のことで話題沸騰。要介護1を受けている人は、介護の内容がいろいろ制限されて自分の趣味などの外出は認められない。知り合いの人が施設に入ったら入所と介護で20万円もかかった。 老人ホームも介護保険料を払っているのにすぐ入れないのはおかしい、ご主人を介護した時はどうだったと話つきません。とにかく年金で安心して受けられる介護が皆さんの切なる願いです。 ●地域訪問、国保の署名、中学校給食の希望が2件から出されました。
2/17	木	<ul style="list-style-type: none"> ●八尾議員と五位堂駅早朝宣伝 ●予算書のチェック <p>生活相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ●南和医療協議会、吉野町公民館に行ってきました。何度も担当者レベルの会議が開かれて本日の会議になっていたためほとんど意見は出ませんでした。 ●南和地区共産党議員会議に参加 拠点病院でお産のできる体制を望む声が強くなりました。
2/16	水	<ul style="list-style-type: none"> ●厚生委員会 新年度予算の説明が冒頭で行われました。 <p>1、奈良県の小児救急について 橿原市の休日夜間診療所が、土曜日夜9時30分からしか診療されず、近隣の開業医も7時30か8時で終了されているので空白時間ができている。 其のことで2時輪番病院の負担が大きくなってやめているところが出てきている4月からは御所済生会病院も二次輪番をあげると聞いているが、せめて6時から診察を始めてもらえれば二次輪番の負担が軽くなる。検討してほしい。</p> <p>#8119、子供の病気のパンフレットなどの活用でどのように改善されたのかと質問。 県は2次輪番の充実が緊急の課題。2次輪番の受診が#8119やパンフレットの活用で減少していること、#8119の利用が当初の10倍になり、12000件をこえている。小児救急は北和地区が24時間体制がなく其の充実に向けて関係機関と協議していると答弁しました。</p> <p>2、野外活動センターについて 前回、野外での学校教育活動の保障に関する請願が全会一致で可決されたのを受け、県は自然と触れ合うテントとロッジを中心とした生活体験施設として新年度予算26930千円管理費32280千円を示してきました。</p> <p>私は県が19年の団体利用者アンケート、21年の小、中高のアンケートをもとに自然体験を望む声が多く寄せられたというアンケートを示し、どこにも管理宿泊棟をなくしてほしいとは書かれていない、むしろ施設が老朽化しているので改善してほしいとかがかかれている。</p> <p>利用者は減っているが、利用団体は増えていて学校団体は管理宿泊棟を利用しての宿泊が活用されている。 また、県は野外活動センターのあり方懇談会を4回にわたって開いていますが、3回までは必要性や老朽化した施設の改善など実態に合った声が多く出ていた7ヶ月あいた4回目ではトーンが変わり、学校側のリクエストをすべてかなえる必要はないとか、自然により親しめるというコンセプトに沿った今後のあり方となるようによく頼むといった、内容に大きな変化がおきている。</p> <p>此の間、議会では知事とのやり取りが行われ、知事が自らの外国での家族でのキャンプの体験から自然と触れ合うことで学ぶことが多かったと発言してから流れが変わってきているのではないかと質問。</p> <p>県の課長は7ヶ月の間はよその施設を調査に行くなどをしてきた。もともと外部監査で廃止も含めて検討す</p>

		<p>べきと出されていた施設だったと答弁</p> <p>私は、廃止から見たらここまで残したからがんばったと言われていたと思うが、どうせここまでがんばったのなら奈良県の子供たちが本当に利用できる施設にするべき。老朽化した管理宿泊棟を建て直してどんな子供でも野外活動体験ができる場所を奈良県としては保障する責任がある。 国が事業仕分けで曾爾高原自然の家も2年後にはどうなるかわからない中でこれだけのお金を使うならもっと考えるべきと主張しました。</p> <p>3. 登美学園について 重度障害児施設登美学園は施設の老朽化が激しく、職員も正規雇用は7年前に採用されたのが最後。退職が出て補充されず、日々雇用という不安定就労で補っている。 現場では夜勤のシフトも組めない深刻な状況。日々雇用では産前産後休暇やつわり休暇もなく流産や退職が起きている。</p> <p>高校生の子供はパワーもあり、便器が壊れたりすると男子職員が補修に追われている。障害児施設では子供にかかわる継続性が必要で日々雇用と言う不安定な形での働かせ方をさせるべきではない。 計画的に人を採用していかないと施設のいー貫性が保てない。 県はこの施設をどのようにしようと考えているのかと質問しました。 県としては現在施設整備については検討中で県立の障害児施設の整備全体の中で考えていきたいと答弁しました。</p> <p>4. 県立なら病院の現地立替を求める請願の採択について 県は現地の平松町と、移転先の六条との比較を示して総合的な判断で移転先が好ましいとの結論を示しました。 また、移転後の跡地医療として地域の医療を担う地域包括支援センターを核として診療所や在宅医療のプランを示しました。 この案は地元はまだ示されていません。費用については病院を移転した場合に古い病院をつぶして跡地に何らかのものまで建設する費用まで含まれているのかと質問したところ500小規模の病院で300億から400億の概算であり、取り壊しに付いては村内かかるとは考えていないと言ったことでした。</p> <p>私は現地では長年慣れ親しんできて身近に医療機関があったことの安心。共栄共存してきたこと病院建設のために土地を提供したことなど請願には地元の思いがいっぱい詰まっています。 また、県が病院職員にとったアンケートは7割が回答していますが、3割りの人がどう考えているのか。アンケートの中では働きにくい内容が意見として出されていてどこに作ろうとも新たな施設とそこで働く人が生き生きと働くことができよう患者さんにとって喜ばれる病院であることが大切と主張して継続の態度を表明しました。 また、請願は継続3.(民主、自民改革、共産、)反対4(自民2、新創なら、公明)で否決されました。</p>	
2/15	火	<ul style="list-style-type: none"> ●葛城北民商書き込み会挨拶 ●県庁へ 厚生委員会の準備 ●各課の打ち合わせ ●長寿社会課、環境課、障害福祉課 地域医療連携課 スポーツ生涯学習課 ●県立奈良病院立替問題。 ●住宅ローンが下がりますの学習会。 <p>お通夜に参列 後援会の会長さんをしていただいた娘さんがお亡くなりになりました62歳です、心よりご冥福をお祈りいたします。</p>	
2/14	月	<ul style="list-style-type: none"> ●山田みつよ議員と懇談会のお誘いに行ってきました。 ●今井事務所で長生き節の練習 アコーデオンの演奏で本格的です。2月26日の女性の集いで披露します。当日は三味線と笛が付きまします。長生き節は今井光子作詞、木下そんき作曲の振り付けがついたオリジナル曲です。長生きしてみりゃよ いろんなことあるもんださ ふんだり けったり ぶつたり ぼけちやいられないさ ほんにそうださ ほんにそうださ ぼけちやいられないさ ●王寺の駅前のまつおかクリニックで懇談会 松岡先生は土庫病院で相談員をしていたときに研修医としてこられた先生です。先生は、私を紹介してくれましたが、大学を出て病気のことを学んできた先生が病人を見る医療の大切さを今井さんから教えてもらいましたと紹介してくださいました。 癌の化学療法を学んで病院ではお亡くなりになるたくさんの患者さんを診るにつけ、もっと早く医療にかかれるような日曜日でも土曜日でも診療して働く人が掛かりやすい診療所を作りたいと開業されたそうです。明るくて広い待合室でこのような集まりができたことは本当によかったと思います。 この町で安心して住み続けられるためにと題して お話させていただきました。 雪のバレンタインというロマンチックな日でしたが、14人が参加してくれました。あたり一面雪景色で、車で帰りましたが、ゆっくり運転して無事帰ることができました。 ●厚生委員会の準備 聞き取り調査 	
2/13	日	<ul style="list-style-type: none"> ●広陵町内宣伝7箇所 良いお天気でお天気日よりでした。足を止めて聞いてくれる人、家の窓を開けて聞いてくれる方などおられました。 ●健全会学術集談会に行ってきました。ポスターセッションではそれぞれの場所での取り組みが紹介されていて、放射線技師の夜間呼び出しの事例が紹介されていましたが、1番に3から4回も呼び出しを受けている過酷な実態がリアルに浮かび上がっています。太田あつしさん、向川さんとともに挨拶をさせていただきました。 ●河合町小集会、支援者の方がご近所に呼びかけて集まってくれました。医療や福祉、子供のことや町のことなど様々な意見を聞かせていただきました。 ●王寺町自治会長さん周り 幡野議員と訪問、予算要望書を届けました。 	 
2/12	土	<ul style="list-style-type: none"> ●雪がやんで道路も解けてきました ●演説原稿作成 ●保育園の発表会、 ●テープの吹き込み ●今井事務所に、田原本や、香芝から応援が来てくれました。 ●河合町訪問 南口議員と、集いを開く相談をさせていただきました。ごみの回収が各家の前ではなく少し離れた集合場所に届けなくてはいけないとのことで強い要望が出されました。 ●広陵町共産党後援会新年会と総会 おでん、おにぎり、サラダ、煮魚、おつくり、など手作りの料理をかこんでの新年会。味も抜群です。長生き 	

			節をみんなで歌いました。業者、婦人、医療など後援会の方々の挨拶。私もお挨拶をさせていただきました。最高は95歳の方。90代の方が3人も来てくれました、選挙の勝利をとり決起の場となりました。
2/11	金		朝から雪景色。以前選挙の年に雪道で滑って骨折したことがあります。車で滑ったら大変です、河合の「砂かけ祭り」で宣伝も中止になり、訪問も中止 ●こんな日は皆さん家にいるので電話かけをしました。家族のことなど久々の電話が弾みます。 ●新聞のお勧めなどをさせていただきました。日曜版2部ふえました
2/10	木		●県議会議会改革推進委員会 ずっと言い続けていた常任委員会、厚生委員会が暮らし創造部、こは生涯学習やスポーツ人権環境など幅広い分野ですが、これに加わり、奈良県の医療改革問題など課題満席で報告時間が長く実質審議時間が短く厚生委員会から暮らし創造部をはずして文教委員会に移すことを提案していました。その結果、議会基本条例の制定、 其の本での議会改革推進会議 が設定されて議論が重ねられ、今回提案通りとなり文・教くらし委員会と全員で確認されました。 高い葉の議員 も共産党がずっと言い続けてきたことと認めてくれてます。 特別委員会の議論となり、関西広域連合についての委員会設置提案がみんなの党から出されました。民主も必要の立場で発言。自民未来の中村議員からも議会でも学習会を持ち 知事の意見も聞き、それで言いたい認識ももっと中何何などの進行を議論すべきではないか 、私も特別委員会を設置して学習をしても具体的な議論になじまない意見。 各派代表者会議の本で 設置された推進会議 のため意見が並立して出たことを含めて今後については各派に戻すことになりました。 そのほか、私は議員が議案に取った態度を議会ホームページなどに公開すべきではないかという提案も全国的な調査を行うことになりました。 ●王寺町自治会長さん周り、予算要望を届けに行ってきました。
2/9	水		●上牧町訪問、石丸議員、以前上牧に住んでいたAさんが知人を訪ねてくれました。 国保の署名、商売の売上げが減って大変、国保が何でこんなに高いのか、福祉関係の仕事大変なのに給料が安い、手術をしないといけぬ医療費が高い、いろいろ聞かせていただきました。久しぶりの雨、片岡城跡にもいってきました、以前はもっと山が生い茂ってうっそうとしていましたが、木が切られて里山保全の対策が行われて光が当たりとても落ち着いていいところです。下牧の周辺は昔の瓦屋根の町並みが残っていて景観を保全して行けばとても魅力的なところ。 ●知事の予算説明、を聞かせていただきました。 ●厚生委員会の件 ●議員団会議
2/8	火		●税金の書き込み会にて挨拶 ●新婦人着付け教室、みな着物を着るとしぐさまでおしとやかに記念撮影をしてもらいました。 ●民医連の婦長さんとの懇談会 看護士問題で意見交換しました、奈良県が外国人の看護士受け入れの特区申請をしている問題が議論に、いま看護士になりたい人が増えている、4大を出ても就職がないため看護士を選ぶ人が増え入りたくても入れない。学費も高く、奨学金だけでは生活支援も必要准看から正看になりたい人も多いが奈良県内で学校がない。 派遣会社から人が紹介される、紹介看護士を入れると紹介料を払わないといけぬ。3ヶ月が最低契約で契約後にすぐやめてしまう事もある。7対1の看護になったときに看護士の数が人数ではなく何時間働くかで決められるようになった。派遣で紹介されると研修期間などは実労働に入らず育てることができにくいなど。医療現場の大変な状況が伝わってきました。 また看護労働実態調査では流産や妊娠中の異常など過重労働で、患者さんを抱えるなど変わってもらえなくて大変という声などもぎっしり書き込まれています。 ●20億円不正融資等を究明する会 20億を背負わされた男のビデオを見て報告会 葛城北民主商工会の2階で行いましたが、活発な意見が出されました。 参加した人は、20億といわれてきたが今日参加してよくわかった。 最高裁の上告はまだ何の返事も来ていない、憲法上の議論が必要になるのか差し戻し事実確認の再審査となるのか、棄却されるのか。いずれにしてもだめならすぐ戻されてくるが、国民救援会を通じて要請行動を行っている。 原告団会議を開いてほしい。うやむやにさせないことが大切、部落問題の解決の上でも重要。
2/7	月		●昔の新聞記事を鮮明にしてもらうのに写真屋さんをお願いしていたら出来上がってきました、読めなかった文字がはっきり読めるようになりました。 ●パンフレットの件お願いに言ってきました。 税金書き込み会 挨拶 ●広陵町あいさつ回り 山田議員と寺前支部長と、日曜版が1部増えました、国保の署名も皆さんしていただきました、ポスターを張っても良いと言ってくれたところも
2/6	日		自民党が2人推薦が発表されました。北葛城郡もまたまた激戦です ●パンフレットの打ち合わせ ●広陵9条の会4周年 伊藤千尋さんの記念講演 はなみずきでコーラス、いと子よ、見上げてごらん夜の星を、全員合唱では、翼をください 歩いてゆこうを歌わせてもらいました。 会場に夫と1年生の孫が来ていました。「ばあば」と声がかからないかとはらはらしていましたが少し成長したようで、「歩いてゆこう」を元気よく歌っていました。 ●広陵町宣伝、真美が丘を中心に9箇所宣伝させていただきました、お天気がよく暖かい日でしたので散歩しながら聞いてくれたりしました。 ●北葛城郡選対会議
2/5	土		●上牧民報の原稿 ●死の臨床研究会 橿原文化会館で開かれ参加してきました。 癌がわかった時、医師が患者さんや家族に其のことを伝えることが求められます。 患者はさまざまな形で不安を医師に投げかけますが、実際の場面では其のことをしっかり受け止められなくて違うことを言ってしまう。 患者さんもゆっくり時間が取れない中では後あまいな形で返事をして不安を抱えたまま帰る。治療効果があればあまり問題ではありませんが、効果がなくなると医師不信に繋がったりします。 家族から本人には伝えないでください、言う時がきたら家族から伝えますという場合、実際其の時期になるとつらくて言い出せません。 家族の立場では、治療としてやるべきことがなくなったと伝えられた時、どうしたらいいのか。さまざまな闘病記をよんで自らの場合と重ねて自分の治療と違う場合にセカンドオピニオンなどに意見を聞く。 医師からすればインターネットで調べたことをコピーしてこういふのはどうかと聞かれると実際後の患者が多く待っているところで本来時間をとってゆっくり話すべきことが、話せないであまいな対応になってしまう。



		<p>医療関係者や患者さんが一堂に集まってこのような問題を真剣に議論すること、また其の研究会があり伝え方のトレーニングやマニュアルなどが考えられていることなど、とても勉強になりました。</p> <p>会場からの発言で、告知をするときは余命跡どれだけでではなく、たとへばご家族と旅行できるのはあとどれくらいかなどADLを伝えることが大事という意見は参考になりました。</p> <p>基本は医師と患者さんの信頼関係が大事だと思います。医療の現場では忙しすぎます。もっと医師や看護師を増やしていくことが大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●原稿作成
2/4	金 	<ul style="list-style-type: none"> ●王寺駅早朝宣伝 ●打ち合わせ 広陵支部で生活保護の支給日に合わせて生活保護の老齢加算の復活の赤旗の記事を配布したとのこと。母子加算が復活しましたが、老齢加算復活の声は切実です。 ●県庁へ 関西土木の県の指導経過について話を聞かせていただきました。 <p>ダイオキシン対策法では焼却施設のダイオキシン測定は義務付けられていますが、測定しない場合の罰則規定はなく、測定したときには報告する義務があるということです。ここについては、報告が出ていません。</p> <p>暴力団排除条例について説明を聞かせていただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●県議会会議 2月県議会に向けて <p>久々にコーラスの練習、2月6日広陵9条の会4周年で歌います。</p>
2/3	木 	<ul style="list-style-type: none"> ●打ち合わせ <p>お見舞い、手術後リハビリにがんばっています、早い回復を祈っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●広陵町山田議員と訪問、今の政治はあかん、近所の若い人たちに選挙権は放棄してはだめと言っている、志位パンフレットを読んでもらうことになりました。 ●上牧町石丸議員と訪問、がんばってと激励していただきました。 お見舞い、体調が優れず、一人のため入院していたほうが安心とのこと、お元気そうでホッとしました。 ●URIに暮らす赤旗読者の方々の懇談会に奈良まで行ってきました。 民主党の事業仕分けで民営化が出されています。この間過去2回は家賃値上げがされなかったとのことですが、今年はこれまで住んでいた人の家賃値上げの年になっているそうです。家主の責任を放棄しているという厳しいご意見をいただきました。孤独死がどこでも起きていますが、合鍵を家主が持っていないためにある団地では鍵をつぶして入り中で亡くなっていた。後で遺族がかぎ代金を支払ったそうです。 公団が合鍵を持っていないとは驚きです。またあるところでは中からチェーンをかけていたため倒れて娘さんが駆けつけてもあけられなかったことがあり一人暮らしの人はチェーンをかけるのはやめようと話しているそうです。 ●高齢化が進んでいること、対策としては平城第2団地を紹介されるそうです。4階に住んでいる人がもう少し下に降りたいとお願いしたら、1階を言われたが1階は物騒で2階に行きたいが、1階しか認めてくれないので4階であきらめている。 子育て世代の若い層と高齢者に2分化。若い世代が暮らしにくいとの意見も。高齢者は朝が早く、子育て世代は夜遅いためやかましいなどの苦情がある、住みにくい、車をとめるところが離れていて子連れの買い物など大変、家賃が上がっていけば民間のほうが家の前に車を止られて便利。 町営住宅が老朽化しているが公団の空き住宅を町営住宅にして活用したほうが立て替えるより安上がりではないか。 ●リフォームするならもっと木を使ってすることで結露がなく環境にもよい住宅になる 、国でも木材利用を増やす計画が示された、もっと要求していくことが必要。集会場の台所を広くして一人暮らしのお食事会をしたいとの要望が出ている 地域の活動の中心の人がいなくなつてから自治会がなくなってしまつてどこに言って行けば良いのか分からない。 ペット問題などなど、要求がいっぱいです。住まいは人権、国の持ち家政策はニュータウンの高齢化。若い世代の不安定就労でローンが組めない、など破綻しています。人口減少で空き家が急増、URや公営住宅が国民の住まいを考えると大きな鍵を握るように思いました。 ●やねだんという鹿児島県の地域でできた焼酎が村興しになって補助金に頼らない村づくりを支えているということがテレビで紹介されました、とても興味深い内容でした。
2/2	水 	<ul style="list-style-type: none"> ●五位堂駅早朝宣伝 八尾議員と 養護学校に通う男の子が握手をしにきてくれました。笑顔がかわいくて最高です。 ●打ち合わせ会議に参加 ●上牧町石丸議員と訪問、国保の署名、赤旗新聞が1部増えました。志位さんの閉塞感を打破する未来への展望語らうのパンフレット3冊 後期高齢者の保険料が高く3割負担をしなくてはならない。退職後も少し手伝っていた。保険だから払わなくてはいけませんが、毎月3万円以上も払うのは負担が大きすぎる。 両親を介護しているが、夜中に2〜3度トイレに起きる。以前はショートステイを使ったことがあるが、施設の人に頼むのが気を使う、トイレの場所が変わるので分かりにくいなどがあり行かなくなりました。自分も年をとっていくので大変です。とのこと ●午後から王寺町幡野議員の地域で国保の署名。風邪を引いてしんどそうにされている方が要介護5のご主人を介護している。どこか預かってくれたらいいけれど前もって予約しておかないと入れてもらえない。暮らしが大変、生活保護を受けられないかなど相談が次々と寄せられました。 マンションが多く表札の出ている家がたくさんありました。
2/1	火 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームページの更新 ●今日から2月。広陵町を訪問。新聞が1部増えました。 初めてのところでも私の名前や長年やってくれている。いつもがんばっているなど、見てくれているのが分かりうれしく思います。共産党には反対ばかりではなくみんなに分かるように言ってほしい。共産党が言っていることが一番よく分かるなどご意見をいただきました。 ●テーブの原稿作成と吹き込み 県会は全体で無風区が多い様子です。地元でもいろいろな声が聞こえてきます。 基本的には4年ごとにやってきたことを振り返って評価をいただき、また次に何を取り組むのか約束することがあって、初めて議員と住民の関係が築けるのだと思います。 いろいろな対場の人々がさまざまな意見を出し合っていくことで県政が前に進むと思います。

[Back](#)